

02 | 紹介元病院（急性期病院）への入院前訪問

どうすれば、患者さまと紹介元病院（急性期病院）に信頼され、選ばれる病院になるか、を検討。入院前に患者さまの不安を解消することで安心して転院してきてもらえるように、入院前訪問を実施。その結果、患者さまの不安を解消するだけでなく、紹介元病院の信頼獲得にもつながっている。

01

紹介元病院からの 転院が決定

回復期リハビリテーション
病棟の紹介患者を増やすには
どうすればよいかを検討。

月の紹介予定入院約20件
対象病院の訪問率100%

02

理学療法士が 紹介元病院を訪問

原則：理学療法士の堀内さん
（事務局）が訪問を担当。
患者さまの状態や状況に応じて
ソーシャルとNsが訪問し、より
詳細な状況把握をしている。

03

患者さまご家族の 不安を解消

入院前に患者さまと顔の
見える関係をつくることで、
患者さまの不安を解消。
患者さまの信頼もup!

04

リハ・病棟とも 情報共有

入院前訪問で得た情報は、
リハビリや病棟とも共有。
患者さまの受け入れ体制を
整えることに役立っている。

患者さまと急性期病院からの 信頼を獲得し、病床稼働向上へ

入院前訪問の目的は、①患者さま・ご家族の不安を取り除くこと ②急性期病院から信頼されることです。

患者さまは、療養環境やどんな医師が担当してくれるのかが気になるようです。入院前に話を伺うことで、自分のことを大切に考えてくれるという感覚を持ち、信頼関係が深まっていると感じています。

紹介元となる急性期病院からも「患者さま情報をしっかり把握してくれるので安心」と好評です。最初は、回復期リハビリテーション病棟だけの取り組みでしたが、現在は療養病棟、障害者病棟にも活動を広げています。

A portrait of a middle-aged man with short dark hair, smiling. He is wearing a white button-down shirt. The background is a blurred hospital ward.

入院前訪問を担当
PTの堀内厚希さん(事務局)